

現代朝鮮語の‘-ey tayhayse’と‘-ey kwanhayse’について
— 日本語の「に対して」、「について」、「に関して」との対照 —
(1) ‘X-ey tayhayse V’

深見兼孝

1. はじめに

本小稿は、現代朝鮮語の‘-ey tayhayse’と‘-ey kwanhayse’について、それが形成する文型とその意味を典型的に考察し、その結果を日本語の「に対して」、「について」、「に関して」に関する、筆者自身の考察を含めたこれまでの研究成果と比較対照することを目的とする一連の研究の最初のものである。

2. 問題点

日本語の「に対して」、「について」、「に関して」は従来「複合助詞」、あるいは格形式の部分を除いて「後置詞」と呼ばれてきたものの一部であるが、どちらの名称を使うにしろ、およそ次のような形態的な特徴を挙げることができよう：i) 格形式と動詞の間に挿入できる助詞類がきわめて限られている、ii) 動詞の活用がきわめて不完全である。前者は「複合助詞」としての一体性を、後者は動詞の形式化を示す指標として注目されてきた¹⁾。一方、朝鮮語にも同様の形式が存在し、興味深い指摘がなされている²⁾が、それらの用法の注意深い分析はまだなされておらず、‘-ey tayhayse’と‘-ey kwanhayse’もその例外ではない。

日本語の「に対して」、「について」、「に関して」と同様、朝鮮語の‘-ey tayhayse’と‘-ey kwanhayse’も次の二つ基本構造を形成する。

- ① X-ey tayhayse/kwanhayse V
- ② X-ey tayhayse/kwanhayse Y-(1)ul V

X, Y：名詞 V：述語動詞（形容詞や「名詞+指定詞」を含む）

そこで第1の問題点はX, Y, Vに該当する語の意味的特徴、そして第2点がこれらの基本構造がどのような意味を表すかである。さらに、第3点目として‘-ey tayhayse’と‘-ey kwanhayse’の連体表現、すなわち

- ③ X-ey tayhan/kwanhan Y

X, Y：名詞

におけるX, Yも記述しておく必要がある。というのは、このX, Yは①②のそれと現

れる環境が異なっており、そのために①②のそれとまったく同じであると断定するのは性急すぎるからである。日本語の「に対して」、「について」、「に関して」のこれまでの研究成果と対照するのは、主としてこれらの点に関してである（詳しくはその稿を見られたい）。

今回は、‘-ey tayhayse’が①の基本構造を取るときについて、第1と第2の問題点を扱う。筆者の調べたところ、大別して、人について述べている用例と、ある状況について述べている用例の2種類があった³⁾。

3. Vの主体が人（団体、組織）の場合

まず、次の例において、Xは発話行為の向けられた相手であり、主体とは対立的な関係にある。また、VはXのなんらかの行動を要求する発話行為を表す。例文中の~~~~部分⁴⁾は発話の内容であり、要求の内容である。

- 1) ……ilpon cengpwu-ka wulinala-ey tayhay ……ilpon yenghwa-wa ilpon
 日本 政府 ガ 我が国 日本 映画 ト 日本
taycwung mwunhwa-uy swuip-ul kaypangha-la-ko yokwuha-ko iss-nun iyu-nun
 大衆 文化 ノ 輸入 ヲ 開放する 命 引 要求する 接 いる 冠 理由 ハ
 mwues-i-nka?
 何 指 疑

次の例ではVは必ずしもXの行動を要求するものではないが、Xの思考・認知上の変更を求めており、上に準じる用法であろう。この例でも、Vの主体がXに対して対立的である。

- 2) ……ilpon-uy cipaychung-un hankwuk mincok-ey tayhaye ……ilpon-i
 日本 ノ 支配層 ハ 韓国 民族 日本 ガ
hankwuk-ul sikminci-lo mantul-e tow-a cwu-ess-ta-ko cwucangha-ko iss-nun
 韓国 ヲ 植民地 ニ 作る 援助ける接 やる 過 終 引 主張する 接 いる 冠
 kes-i-ta.
 の 指 終

次の例ではVは必ずしも発話行為を表さないが、主体はXを否定的に見ており、その打破を目指して主体はVという行為をそれに向けている。

- 3) ……kuleha-n simin-uy moim-uy wumcikim-ey tayhay ceycoepchey-tul-un
 そのようだ 冠 市民 ノ 集まり ノ 動き 製造業体 複 ハ
kotpalo pankyekha-ko nase-ss-ta.
 すぐさま 反撃する 接 出る 過 終

以上の3例においてはVはすべて本来-ey(key)格補語を取る⁴⁾。また、主体はVに対して対立的・否定的であり、Xのなんらかの変化を求めてXにVという行為を向け、Vは

極めて強い指向性と働きかけ性を持った動詞であると言えよう。周知のように、‘tayhayse’は‘對 hayse’であり、このような指向性の強い動詞と、主体と対立的なその対象（相手）を表すXを取るのがその本来的な性質であろう。

次の例では主体はXの変化を求めているのではない。VはXという刺激の存在によって引き起こされる「反応」を表している。が、同時に「反応」は刺激に対して向けられるものであり、Vはやはり強い指向性を持っている。

- 4) tto inkan-un caki cwupyen-uy kkunhimeps-nun cakuk-kwa chwungtung-ey
 また 人間 ハ 自分 周辺 ノ 絶え間ない 冠 刺激 ト 衝動

tayhay pannungha-mye ……

反応する 並

次の例のVはXの存在に対する知覚を表す。このような知覚はXが刺激となって引き起こされた精神作用であるが、その作用は積極的なものであり、やはりXに向いていると言える。この2例のVも本来-ey格補語を取る。

- 5) ku-tul-un ……caa-ey tayhay nwuntu-ko…
 彼 複 ハ 自我 目覚める 接

次の例ではVは主体の態度を表す。これらの動詞も本来-ey格補語を取る。Xは主体と対立的であり、その態度が向けられる物事や出来事である。

- 6) ileha-n poswutang-uy saylowu-n cengchayk-ey tayhay notongtang-
 このようだ冠 保守党 ノ 新しい 冠 政策 労働党

un kyeklyelha-key pantayhayss(<=ha-yess)-ta.

ハ 激烈だ 副 反対する 過 終

- 7) …… ilpon-uy taycwung thoyphyey hyanglak mwunhwa-uy chimthwu-ey
 日本 ノ 大衆 退廃 享樂 文化 ノ 浸透

tayhayse-nun tewuk nalkhalop-key kyengkyeyhay(<=ha-ye)-ya ha-nta.

ハ さらに 鋭い 副 警戒する 義務 終

次の例ではXは主体と対立的ではないが、Vは本来-ey格補語を取り、Xはその態度が向けられる対象である。

- 8) ……wuli-wa talu-n salam-kwa samwul-ey tayhay pota kwantayhayji-l swu
 1複 ト 異なる冠 人 ト 事物 より 寛大になる 可能

iss-ki ttaymwun-i-ta.

名 ため 指 終

以上の8例すべてに共通しているのは、Vは本来補語に-ey(key)格を取ることができ、動詞本来の意味として対象（相手）Xに対する指向性を持っているものと考えられることである。

ところで、態度の表明は言語行為（言語を発すること）と密接に関係する。次の例のV

は言語行為を前提にした態度の表明である。Vは本来-ey 格の補語を取り、対象Xに対する指向性を持っている。同時に主体はXと対立的である。

- 9) ……ku-nun kuleha-n hyensang-ey tayhaye hyephoy- ka kyengkoha-l philyo-
 彼 ハ そのようだ冠 現状 協会 ガ 警告する 未冠 必要

ka iss-ta-nun chwungko-to kyethtul-ess-ta.

ガ ある終 引冠 忠告 モ さし添える 過 終

次は言語による心情の表明の例である。このVも本来-ey 格の補語を取る。その意味するところは言語行為を前提にしているが、ここでは単純な心情の発露というよりは、例文中のその発話の内容（“ ”の部分）から察して、Xへの評価的態度が含意されていると見てよいらう。主体はXに対して対立的である。

- 10) i [韓国の産業災害率がきわめて高いこと] -ey tayhay hankwuk-uy han tayhak
 これ 韓国 ノ ある 大学

kyoswu-nun “wuli-ka yecenhi seykyey choyko-uy sancayyul-ul poi-ko iss-ta-

教授 ハ 1複 ガ 相変わらず 世界 最高 ノ 産災率 ヲ 見せる接いる終

nun sasil-un kwulyokcek-i-n kes”-i-la-ko hanthanhayss(<=ha-yess)-ta.

引冠 事実 ハ 屈辱的 指冠 こと 指終引 なげく 過 終

一方、次の例のVは、前の2例のVと同様言語行為を前提にした主体のXへの否定的な態度を表しながらも、本来-ey 格の補語を取らない。

- 11) kukes-tul⁹⁾-un wuli sitay-ka an-ko iss-nun yele kaci pwucoli, sipikeli-ey tay-
 それ 複 ハ 1複 時代 ガ 抱く接いる 冠 いろいろな 不条理 論争的

hayse cicek-ulo piphanha-kena ……

知的 ニ 批判する 選

次の2例のVも同様である。

- 12) 1977nyen-ey silsitoy-n chongsen-ey tayhay yatang-i-n phakhisuthan kwukmin
 年 ニ 実施される 過冠 総選挙 野党 指冠 パキスタン 国民

yenmayng-i pwuceng senke-la-ko kyuthamha-m-ey ttal-a ……

連盟 ガ 不正 選挙 指 引 糾弾する 名ニよる 接

- 13) ……calmostoy-n seythay-ey tayhay sillalha-key phwungcaha-nun ……

誤る 過冠 世の中の様 辛辣だ 副 風刺する 冠

このように、11)～13)のVは本来指向性は弱いと考えられる。Xは具体的な事例というよりはある事態・状況である。しかしながらその一方で、その事態・状況は主体が否定的に見ているものであり、言語行為に伴う主体の態度はXに向けられていると解釈される。そのような解釈を可能にしているのが、まさしく‘ey tayhayse’による指向性の強化であらう。‘ey tayhayse’は本来指向性の弱い動詞を先行する名詞に結び付けることによって、動詞の指向性を補填・強化し、その表す事柄が名詞が表す事柄に向けられていることを明示

化しているのである。

次の例のVも主体（ここでは‘我々’）の態度を表すという点、および本来-ey 格補語を取らないという点上の3例のVと同様である。しかし、ここでは主体がXに対して否定的ではない。

- 14) ……kwukoy ipyang-i ……pwulwu atong-ul kencenha-key kilu-nun hana-
国外 養子縁組が 不遇 児童ヲ 健全だ 副 育てる 冠 ひとつ
uy pangan-ulose konghenha-n cem-ey tayhayse-nun incenghay(<=ha-ye) cwu-
ノ 方案 トシテ 貢献する 過冠 点 ハ 認める やる
e-ya-man ha-nta.
義 務 終

同様に、次の2例におけるVは、本来-ey(key)格ではなく-(l)ul 格の補語を取る。この事実はこれらの動詞の指向性の弱さを反映しているものと考えられる。15) のVは高度の思考の結果であり、態度と違って、主体の行為よりも内面が問題である。Xはテーマとしての解釈が十分成立するであろう。16) のVは5) のVと同じXの存在に対する知覚を表すが、精神作用としては消極的である。いずれの場合も、主体はXに対して否定的ではない。

- 15) …… ku pakk-uy nala-tul-to …… isulaeyl-ul kwukka-lo incengha-mye
その 外 ノ 国 複 モ イスラエルヲ 国家 トシテ 認める 並
theylelicum-ul paychekha-nta-nun cengchi senen-ey tayhay kungcengcek-ulo
テロリズム ヲ 排斥する 終 引冠 政治 宣言 肯定的 ニ
phyengkahay(<=ha-ye) cwu-ess-ta.
評価する 接 やる 過 終
16) ……sekmyen-uy wihemseng-ey tayhay cenhye kkaytat-ci mosha-ko iss-nun
石綿 ノ 危険性 全く 気づく 不可能 接 いる 冠
wulinala-wa……
我が国 ト

このように、これらの3例は主体がXを否定的に見ていることを表さない。しかしながら、15) のような解釈が一方では成立するにも関わらず、これらの例からは全体としてXへの指向性を読み取ることは不可能であるまい。つまり、主体の態度や評価、知覚がXに向けられていると解釈されうるのである。やはりこれは、‘-ey tayhayse’の指向性の強化によるものであろう。

同様のものに‘sayngkakha- (考える、思う)’がある。Vが‘sayngkakha-’の場合は、思考性がさらに明確になり、主体の態度の外への表出はほとんど考えられない。次の例のXはテーマと解釈できる。

- 17) kucem-ey tayhayse tangsin-un ottehkey sayngkakhayyo(<=ha-yeyo)?
その点 あなた ハ どう 思う 疑

一方、Vの表す思考がなにか／どこかへ向けられている場合がある。次の例では主体がXのことを思い及んでいる。Xはテーマであると同時に、思考が向けられる対象であると解釈することも可能である。このような解釈を可能にしているのは、‘-ey tayhayse’が指向性を強化しているからである。

- 18) ……I Kyenghwun sii-nun sayhay-lo selun yeses sal-i toy-n casin-uy salm-ey
 イ・ギョンフン 氏 ハ 新年 デ 36 オニなる過冠 自身 ノ 生き方
tayhay sayngkakhay(<=ha-ye) po-nta.
 考える 接 見る 終

- 19) ……kkulssuni-ka caki oppa-ey tayhay hoykoha-n pwupwun-ul yusimhi ilk-e
 書き手 ガ 自分 兄 回顧する 過冠 部分 ヲ 注意深く読む接
po-ass-ta.
 見る 過終

さらに、次の例文では、Vは‘sayngkakhay-’ではあるが、主体はXに対して否定的な評価を下しており、それだけXを評価が向けられた対象であると解釈しやすいであろう。

- 20) kwukmin-tul-un ……cengpwu-wa cwungangunhayng-ey tayhayse maywu
 国民 複 ハ 政府 ト 中央銀行 非常に
encanh-key sayngkakhayss(<=ha-yess)-ta.
 すっきりしない 副 思う 過 終

同様なものに判断がある。

- 21) ……ileha-n mwuncey-ey tayhay peplyul cisik-ulo-man hwunlyentoy-n salam-
 このようだ 冠 問題 法律 知識 デ ノミ 訓練される 過冠 人
tul-i choycongcek-ulo phantanha-nun kes-un taytanhi wihemha-n il-i-ta.
 複 が 最終的 ニ 判断する 冠 こと ハ 非常に 危険だ 冠 こと 指 終

‘al- (知る)’は-(l)ul 格の補語を取るが指向性は認められない。Xはテーマである。

- 22) ku-tul-un ……hyensil-ey tayhayse-to al-koca ha-nta.
 彼 複 ハ 現実 知る 意 する 終

以上、Vが態度、評価、存在の知覚、思考、判断を表す場合、-ey 格補語を取らなくても、弱い指向性が認められよう。‘-ey tayhay’はこのような比較的弱い指向性を持つ動詞とXを結び付け、指向的意味を強化しているのである。また、その限りにおいてXはその対象であると解釈できる。その一方で、Vが評価、思考、判断を表す場合は、Xはテーマとしても解釈も可能である。また、‘al-’の場合はXのテーマの解釈を受ける。

次の例では、態度が‘hangpyenha- (抗弁する)’ことによって表明されている。同時に例文中の“ ”の部分は‘hangpyenha-’という発話の内容であり、その点では10)と平行的である。しかしながら、例文はそれがXに向けられているのではなく、Xについてなされていることを意味している。‘hangpyenha-’は本来-ey 格補語を取るが、Xは「抗弁す」べきな

んらかの意見や説ではないので態度の対象とは考えにくい。Xはテーマとすべきであろう。

- 23) picengsangcek-i-n inmwul-uy tungcang-ey tayhay Kim Swuhyen ssi-nun
非正常的 指冠 人物 ノ 登場 キム・スヒョン 氏 ハ

“iyakiskeli-nun cengsangcek-i-n salam-hanthey-pota-to picengsangcek-i-n
話の種 ハ 正常的 指冠 人 ニ ヨリ モ 非正常的 指冠
salam-hanthey manh-un kes ani-nka”-lako hangpyenha-ki-to ha-nta.
人 ニ 多い 冠 の 否定 疑 引 抗弁する 名モする 終

次の例も同様である。

- 24) yeki [制作したドラマが物議を醸していること] -ey tayhayse Kim Swuhyen
ここ キム・スヒョン

ssi-nun “tulama-nun totek kyokwase-ka ani-ta. …… tulama-lul nemwu
氏 ハ ドラマ ハ 道徳 教科書 否定 終 ドラマ ヲ あまりに
yunlichayk-i-na totekchayk-uy swucwun-ey macchwu-la-ko kangyo-ha-ci mal-a
倫理の本 指選 道徳の本 ノ 水準 ニ 合わせる 命 引 強要する 禁止依頼
tal-la”-ko panpakha-nta.
引 反駁する 終

次の例ではVは‘malha- (言う)’, ‘iyakiha- (話す、語る)’で、言語活動そのものである。思考と同じく人間の高度な精神作用を表すが指向性はなく、Xはテーマである。

- 25) ……wuli-nun wucwh-ey tayhayse etteh-key malha-l swu iss-ul kes-i-nka?
1複 ハ 宇宙 どのような 副 言う 可能 推量 疑

- 26) ……tokca-wa macwuanc-a casin-uy konoy-ey tayhayse nacikha-key iyakiha-
読者 ト 向い合って座る 接 自身 ノ 苦惱 (声が)低い 副 語る
nun ile-n epep-un ……
冠このようだ冠語法ハ

‘tut- (聞く)’も同様に考えられよう。

- 27) Pelkyo-uy cwumek-ey tayhayse-nun na-to elyese(<=li-ese)-pwuthe ikhi
ポルギョ ノ げんこつ ハ 1単 モ 幼い 接 カラ 慣れて

tul-un pa iss-ta.
聞く過冠ところある終

‘-ey tayhay’がXとVの関係性のみを示している場合がある。ここでは、どういう事柄についてVなのかということを示すが、Vは思考や言語活動を表さないで、Xはテーマとはならない。また、Vは本来補語を取ることができず、指向性も考えられないので、XはVの対象でもない。Vは主体の行為を表す場合も、属性を表す場合もある。後者の場合は述部の主要構成素が名詞である場合もある。

- 28) kukes [雪が降ること] -ey tayhayse Ekman ssi-ka chaykimci-l kes-un cenhye
 それ オンマン 氏 ガ責任を取る 未冠 こと ハ まったく

eps-ess-ta.

ない 過 終

- 29) ……nwukwu-wa taycakha-l kes-i-nka -ey tayhayse-nun maywu kkatalop-ko
 だれ ト さして酒を飲む 当為 指 疑 ハ 非常に うるさい 接

yunansulep-ki-kkaci ha-ta.

度が過ぎている 名 さえある 終

- 30) ……na-chelem pwulkyo -ey tayhay mwunoyhan-i-n salam-eykey-to……
1 単 ノヨウニ 仏教 門外漢 指 冠 人 ニ モ

次の例では、述部の主要構成素が名詞である。従って、本来は主語の属性を表すために指向性は考えられないが、その内抱的な意味として態度の意味が含まれている⁶⁾ので、‘-ey tayhayse’によってXと結び付けられることによって、関係性を越えて内抱された指向性が現れている。

- 31) ……isulaeyl-uy likhwulutang hayngcengpwu-nun conglay-pwuthe alap
 イスラエル ノ リクルー党 政府 ハ 従来 カラ アラブ

cwungtong mwuncey -ey tahayse-nun nul chokangkyeng ipcang-i-ess-ten

中東 問題 ハ いつも 超強硬 立場 指 過 回 冠

mankhum……

ダケニ

名詞を主要構成素とする述語が本来指向性を欠いているとは必ずしも言えない。次の例の‘houycek (好意的)’は名詞でありながら、指定詞との結合形‘houycek-i-’は-ey 格補語を取ることができ、明確に指向性を示している。

- 32) ……sekwuin-tul-un ilpancek-ulo pyenhwa -ey tayhay houycek-i-ese……
 西欧人 複 ハ 一般的 ニ 変化 好意的 指 接

4. Vが状況 (の変化) を表す場合

Xは状況やその変化がどういうこと (または物) について成立しているかを示す。すなわち‘-ey tayhayse’は関係性を表す。次の例では‘kwanli (管理)’が‘……pilting (……ビル)’や‘kongkong siselmwul (公共施設物)’について‘ilwueci- (なされる)’という変化が起こる (ことを書き手が要求していること) を表している。

- 33) tto sekmyeng-i salphotoy-n pilting-i-na kongkong siselmwul -ey tayhayse-nun
 また 石綿 ガ 撒布される 過 冠 ビル 指 選 公共 施設物 ハ

chelceha-n kwanli-ka ilwuecye(<=ci-e)-ya ha-nta.

徹底している冠 管理ガ なされる 義務終

以下も同様の例である。

34) ……kwukko poco-ey tayhayse-nun i-lul kungcengcek-ulo phyengkaha-nun
国庫 補助 ハ これヲ 肯定的 ニ 評価する 冠

ipchang-kwa pwucengcek-ulo po-nun ipchang-i iss-ta.

立場 ト 否定的 ニ 見る 冠 立場がある 終

35) ……nyuwutil-ey tayhayse-nun hakca-tul kan-ey ……noncayng-i iss-ta.
ニューディール ハ 学者 複 間 ニ 論争 がある 終

36) setok-un ……kwukko poco-ey tayhayse nonlan-i simhayss(=ha-yess)-ten
西ドイツハ 国庫 補助 論難 ガ 甚しい 過 回冠

kwuka-i-ta.

国家 指 終

37) ku ttay-kkaci ku[李箱]-ey tayhayse-nun ponkyekcek-i-n yenkwu-ka eps-ess-ta.
その時 マデ 彼 ハ 本格的 指冠 研究 ガ ない 過 終

38) salam-i-lan mwues-i-nya tto-nun pyeng-i-lan mwues-i-nya ha-nun kaynyem-ey
人 指トハ 何 指疑 また ハ 病 指トハ 何 指疑 という 冠 概念

tayhayse-to seyang uyhak-kwa tongyang uyhak-un selo tatu-ta.

モ 西洋 医学 ト 東洋 医学 ハ 互いに 異なっている終

ただし、次の例の‘philyoha- (必要だ)’は本来補語に-ey(key)格を取ることができ、文としてはある状況を表していながらもXは対象と解釈される。

39) ……haksayng-tul-ey tayhay ……thukpyelha-n paylye-wa yelsengcek-i-n
学生 複 特別だ 冠 配慮 ト 熱誠的 指冠

cito-ka phiyoha-ta.

指導 が 必要だ 終

また、次の例においても解釈の上でXを対象と見なせる。これは、‘ihay (理解)’という名詞が意味上指向性を内抱しているためと思われるが、これについての検討は次回に回したい。

40) hapliseng-ul kyeklyul-lo ha-ca-nun isang-un saml-ey tayhay calmstoy-n
合理性 ヲ 格率 ト する 勸 引冠 理想 ハ 生きること 誤る 過冠

ihay-ey ……

理解 ニ

5. まとめ

以上の議論をまとめてみると概略次のようである。

まず、Vの主体が人であるとき、Vが本来指向性を持っている場合はXはそれが向けられる相手や対象を表す。また、Vが本来指向性が弱い場合でも、‘-ey tayhayse’が指向性を強め、Xがその対象であるという解釈を可能にする（一部はテーマであるという解釈も同時に成立する）。ただし、Vが本来指向性を持っていても、その発話内容が現れているときはXはテーマであることがある。Vが言語活動そのものを表すか‘al-’の場合は指向性がなく、Xはそのテーマである。その他の指向性のないVの場合は、‘-ey tayhayse’はXとVの関係性のみを示す。次に、Vが状況（の変化）を表すときは‘-ey tayhayse’は概ねXとVの関係性を示すが、Xを対象と解釈できる場合もある。

なおここで、これまで暗黙のうちに‘-ey tayhaye (tayhay)’と‘-ey tayhayse’は異形態としてきた。しかし、データでは‘-ey tayhayse’が-ey(key)格の補語を取らないV（または名詞）とのみ共起しており、また、助詞‘nun’, ‘to’が連結するのも‘-ey tayhayse’のみであった。⁸⁾これは両者の間に意味の違いがあることの表れであると思われるが、‘-ey tayhaye (tayay)’は-ey格の補語を取るVとも取らないVとも共起しているので、結論をここで出すのは控えたい。

注

- 1) 砂川（1987）、松本（1990）参照。
- 2) 塚本（1990）参照。
- 3) 月刊雑誌『한국인(韓国人)』1989年1月号～3月号の用例を調査した。本文であげた例はある程度の形態分析を施した。それに使った略号は次の通りである（アイウエオ順）。なお、それらのほとんどは、原文そのままではなく一部を適宜省略したものである。

意：意志形接続語尾

指：指定詞

1単：1人称単数代名詞

終：肯定形終結語尾

1複：1人称複数代名詞

接：単純接続語尾

引：引用形語尾

選：選択形接続語尾

引冠：引用冠形語尾

副：副詞形語尾

過：過去－完了語幹形成素

複：複数接辞

回冠：回想冠形語尾

並：並立形接続語尾

過冠：過去－完了冠形語尾

未冠：未来－推量冠形語尾

冠：現在冠形語尾

名：名詞形語尾

勸：勸誘形終結語尾

命：命令形終結語尾

疑：疑問形終結語尾

- 4) Vが本来-ey(key)格補語を取ることが、例文中の‘-ey tayhayse’を-ey(key)’で置き換えられることを意味するかどうかは、別途検討する必要がある。
- 5) ‘kukes-tul’が指示しているのは「最近人気の高い詩」であるが、実際には詩人たちがその詩を通して‘pipphanha-’という行為を行っている（行っていない）ので、この節で取り上げた。
- 6) 述語の主要構成素である‘chokangkyeng ipcang’に含まれる‘kangkyeng (強硬) ’が‘-ha-’によって派生されて形成された形容詞‘kangkyengha- (強硬だ) ’は、本来-ey 格の補語を取ることができる。
- 7) ‘ihay’が‘-ha-’によって派生されて形成された‘ihayha- (理解する) ’は-ey 格補語を取らない。
- 8) 例7) はデータの範囲では極めて例外的である。しかし、‘-ey tayhayse’が‘nun’と結合していることも注目される。

言及した文献

砂川有里子 (1987) 複合助詞について 日本語教育62 pp.42-55

塚本秀樹 (1990) 日本語と朝鮮語における複合助詞について 崎山理ほか編 (1990) アジアの諸言語と一般言語学 pp.646-657 三省堂

松本正恵 (1990) 複合辞の認定基準・尺度設定の試み 早稲田大学日本語研究教育センター紀要 2 pp.27-52